



# 乳児ホームるり



外に出ればまだまだ汗ばむ季節ではありますが、少しずつ秋の匂いや気持ち良い風が感じられるようになってきました。子どもたちは感染症対策を行いながら季節の行事を楽しみました。3年ぶりとなるお泊り保育では、アンパンマン列車に乗ったり水族館に行ったりして喜んで遊ぶ姿が見られました。

## 子ども達の様子

### ～海水浴～

東光園と一緒に海水浴に行きました。初めは海を怖がっていた子どもだんだんと慣れ、浮き輪に乗ってプカプカと波に揺られたり魚や貝殻を見つけたりして海を楽しむことができました。

また、砂浜でスイカ割りをしたり夜には花火をしたりして夏ならではの遊びを楽しみました。



花火きれいだね



ちゃぷちゃぷ♪



### ～お泊り保育～

一泊二日でお泊り保育に行きました。一日目はアンパンマン列車に乗り、子ども達は目をキラキラさせて大喜びしました。

さぬきこどもの国では、アスレチックで遊んだりじゃぶじゃぶ池で水遊びを楽しんだりしました。

二日目の四国水族館では、魚たちの泳ぐ姿に興味津々でジッと観察する子ども達の姿が見られました。

お魚さんと  
ハイチーズ♪



バッシュャ～ン!



### 乳児ホームるり 基本方針

- ・ 「人柄のよい子に育てよう」という目標のもと愛情を持って養育し、人間形成の基礎を培います。
- ・ 職員は自己研鑽に励み、チームワークを大切にし、同じ方向性を持って家庭的な養育を行います。
- ・ 地域のニーズに応じた子育て支援事業を推進します。
- ・ 常に安心・安全に気を配り、察知能力を養い、危機管理に努めます。
- ・ 保護者との連携を密にして、親の問題状況の解決や緩和を目指し、包括的な取り組みを行います。



# ナースだより ～子どもの事故 転落について～

子どもたちの事故の中で、転落事故は高い所からに限らず比較的低い所からの転落であっても、頭部の骨折や頭蓋内損傷の事故が発生しています。保護者が常に目を離さずにいることは難しく、見守りをしていても、すぐそばにいないければ助けることも困難です。重大な事故を防ぐためには、子どもの転落事故の特徴を知り、事前の対策を取ることが大切です。

## ＜子どもの転落事故の特徴＞

- 発達段階によって事故が起こりやすい場所や状況が変わる。
- 頭部から落下しやすい。(小さな子どもは体の大きさに比べて頭が大きく重心の位置が高い)
- 思わぬところに登ったり、いろいろな遊び方をする。

## ＜転落事故の例え＞

• 大人用ベッドやソファからの転落



• ベビーベッドやおむつ替えの時の台からの転落



• 椅子やテーブルからの転落



• 階段から転落、段差での転倒



• ベランダなどからの転落



• 窓や出窓からの転落



• 抱っこひも使用時の転落



• ベビーカーからの転落



• ショッピングカートからの転落



• 遊具からの転落



## ＜注意ポイント＞

- 柔らかすぎるクッションなどは窒息のおそれがあるため、転落防止のためであっても周りに置かないようにしましょう。ソファで寝かせないようにしましょう。
- ベビーベッドを使用時は、常に柵を上げて使用しましょう。おむつ替えをする時は、事前に準備し、片付けやゴミ捨ては子どもを降ろした後にしましょう。
- 椅子やこども用ハイチェアの上で立ち上がったり、座ってテーブルを蹴ったりさせないようにしましょう。安全ベルトは、必ず締めましょう。
- 階段は転落防止の柵を付けて、閉め忘れのないようにし、子どもが開けられないように必ずロックしましょう。
- ベランダを遊び場にしないようにし、子どもだけでベランダに出ないようにしましょう。ベランダから身を乗り出すと転落する危険があることを教えましょう。(ベランダに植木鉢、椅子などの踏み台になるものを置かない)
- 子どもだけを家に残して外出することは避けましょう。
- 窓に補助錠やストッパーをつけましょう。(窓の近くにベッドやソファなど踏み台になるものは置かない) 網戸に寄りかかると破れて転落するおそれがあるので、網戸に寄りかかれないよう柵を設置しましょう。
- 前にかがむ時は、必ず子どもを手で支え、おんぶや抱っこ、降ろす時は低い姿勢で行いましょう。取扱説明書を読んで、正しく使用しましょう。
- ベルトは必ず、正しくしっかりと締めましょう。重い荷物をぶら下げていることでバランスを崩すので、注意しましょう。
- ショッピングカートの上に子どもを立たせたり、遊ばせたりしないようにしましょう。幼児用座席以外に子どもを乗せないようにしましょう。
- 施設や遊具の対象年齢を守って、6歳以下の子どもは大人が付き添い目を離さないようにし、引っかかるものは身につけないで遊ばせましょう。

## 調理だより

食育で子どもたちと一緒にかき氷作りと綿菓子作りに挑戦しました。かき氷作りでは職員と一緒に氷を削り、スイカやミカンなど好きなトッピングを乗せて美味しく食べました。綿菓子作りでは、青・ピンク・白の中から好きな色を選び職員と一緒にクルクルお箸に巻きつけました。みんなワクワクして、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

